

入退院調整ルールに係るケアマネアンケート 集計結果

令和5年1月実施

○アンケート回収状況

〔機関〕

	R4	R3
配布事業所数	44	44
回答事業所数	28	36
回収率	63.6%	81.8%

【問1】担当している全ケースの件数

〔件〕

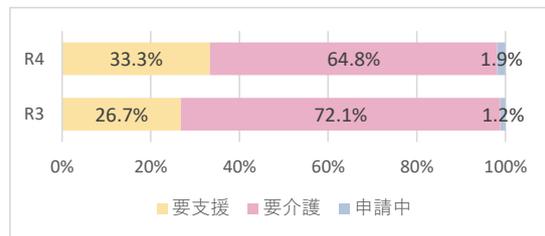
	R4	R3
介護	1,275	1,757
予防(総合事業含む)	906	914
計	2,181	2,671

≪令和5年1月中に利用者が西諸管内の医療機関へ入院したケースについて≫

【問2】利用者の介護度の内訳

〔件〕

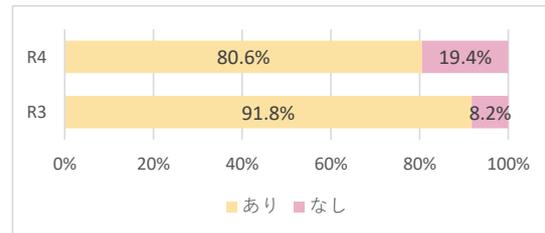
	R4	R3
要支援	36	23
要介護	70	62
申請中	2	1
計	108	86



【問3】医療機関と連絡のやりとりの有無

〔件〕

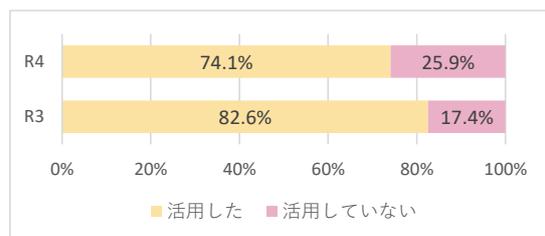
	R4	R3
あり	87	78
なし	21	7
計	108	85



【問4】ケアマネから医療機関へ様式1(入院時情報提供書)の活用状況

〔件〕

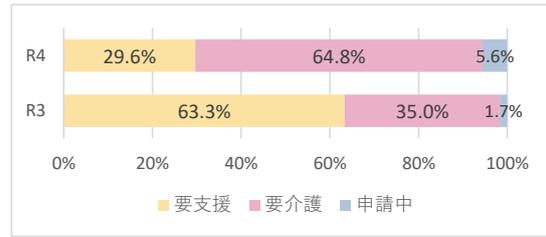
	R4	R3
活用した	80	71
活用していない	28	15
計	108	86



《令和5年1月中に利用者が西諸管内の医療機関から退院したケースについて》

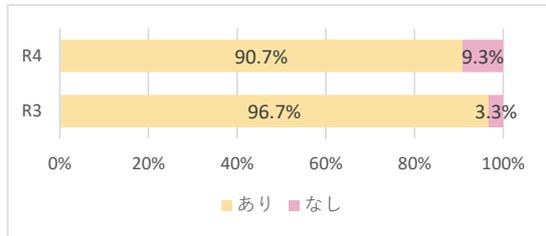
【問5】利用者の介護度の内訳

	〔件〕	
	R4	R3
要支援	16	38
要介護	35	21
申請中	3	1
計	54	60



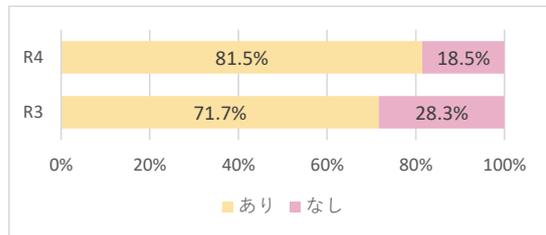
【問6】医療機関から退院前に退院についての情報提供があったか

	〔件〕	
	R4	R3
あり	49	58
なし	5	2
計	54	60



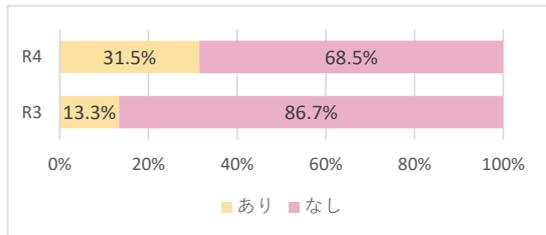
【問7】医療機関から様式2（退院時情報提供書）の受取状況

	〔件〕	
	R4	R3
あり	44	43
なし	10	17
計	54	60



【問8】カンファレンスへの参加状況

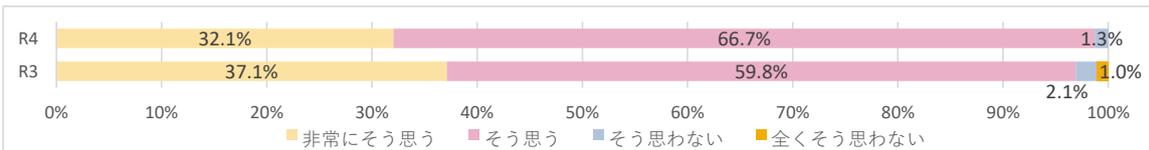
	〔件〕	
	R4	R3
あり	17	8
なし	37	52
計	54	60



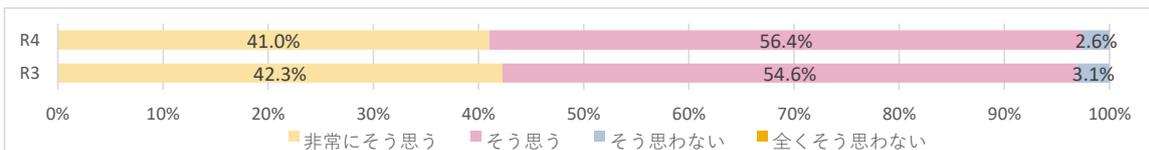
※死亡の場合を除く

【問9】入退院支援等について

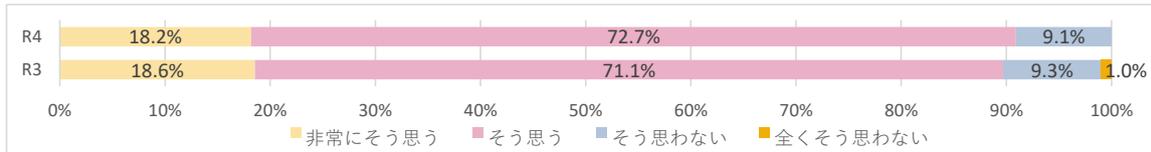
① 介護保険を利用している利用者が入院した場合、医療機関と早い段階で情報共有ができています。



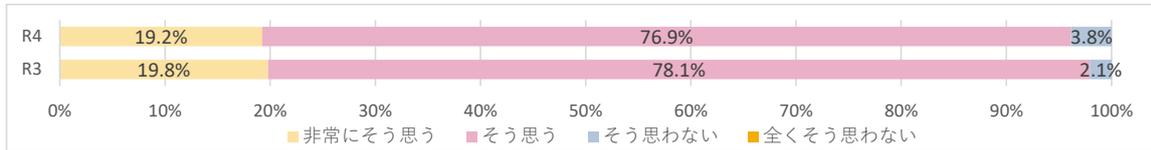
② 利用者が入院したら、すみやかに入院時情報提供書（様式1）等の提出ができています。



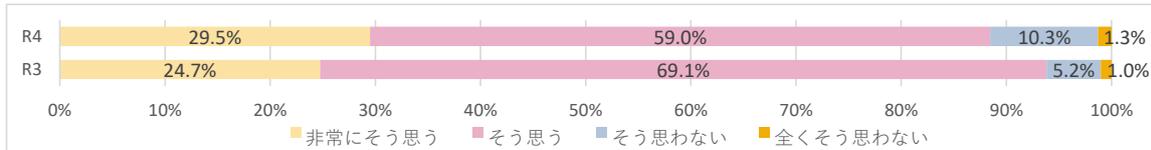
③ 入院中は医療機関と連絡を取り合い、退院調整のためのカンファレンスに参加するなどして退院後に必要な支援等について情報共有ができています。



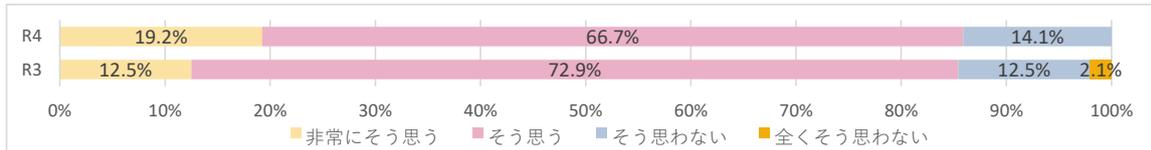
④ 医療機関から相談があったら、必要に応じて本人・家族及び医療機関と情報共有し、円滑に在宅生活等へ移行するために必要な支援を行うことができています。



⑤ あらかじめ入院期間を把握していた場合は、医療機関に退院日の確認を行っている。

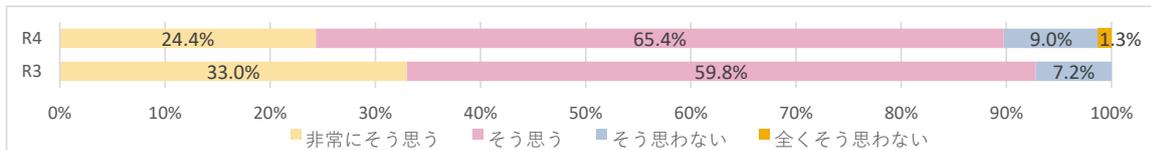


⑥ 退院時に医療機関からの情報は十分であった。

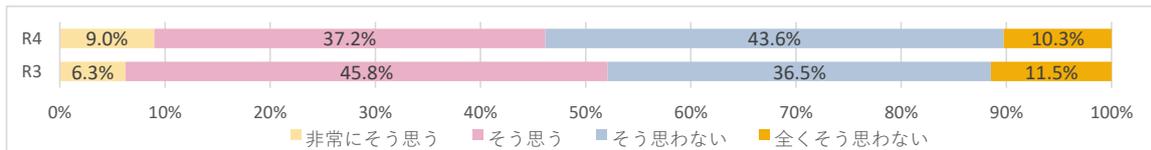


【問 10】 「にしもろ入退院調整ルールブック」について

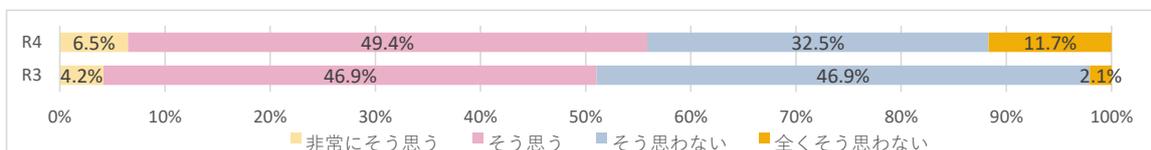
① 「にしもろ入退院調整ルールブック」が勤務している事業所内で周知されている。



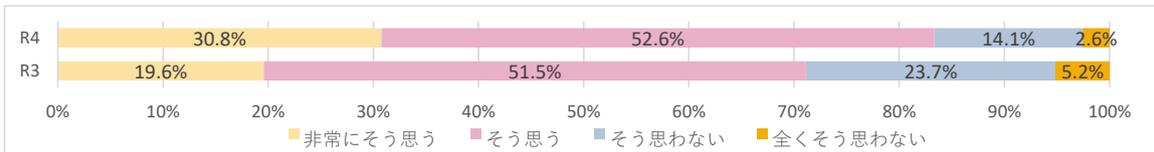
② 「にしもろ入退院調整ルールブック」のWEB版(結netにしもろホームページ内)を活用している。



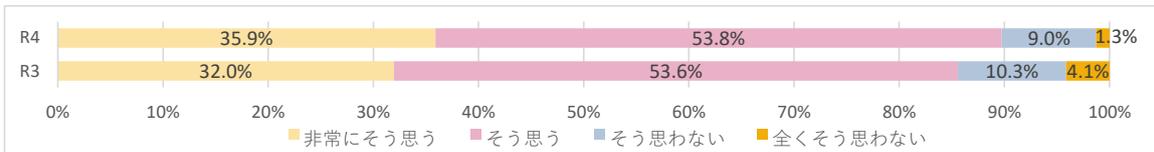
③ 介護保険証やお薬手帳に名刺をつけるなど、医療機関担当者に担当であることを認識してもらう工夫ができています。



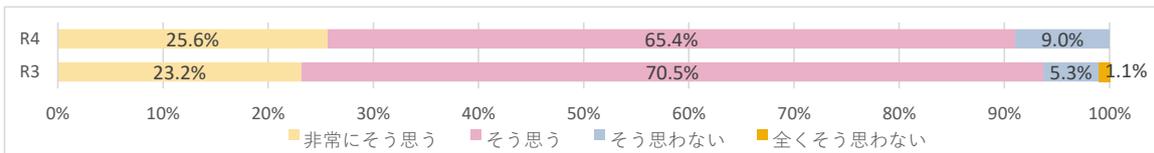
④ ルールブックの冊子またはWEB版の「各市町(保険者)窓口一覧表」を活用している。



⑤ ルールブックの冊子またはWEB版の「退院時情報提供書」を活用している。



⑥ 「にしもろ入退院調整ルールブック」策定後、医療機関との連携がスムーズになった。



入退院支援等では6項目中5項目で「非常にそう思う」「そう思う」が90%近くになっている。「退院時の医療機関からの情報が十分であった」の項目が昨年度よりやや低くなっている。

にしもろ入退院調整ルールブックについては昨年とほぼ同じ結果であったが「介護保険証やお薬手帳に名刺をつける」の項目が昨年度より低くなっている。

記述式のアンケートでは「急な退院の連絡時に困った」や「コロナ禍での面会制限等で情報収集が困難であった」などの回答があった。今後、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてくれば多職種間の連携がさらにスムーズになるとと思われる。